



5月11日(水)、市役所本庁で、日本赤十字社鹿児島県支部薩摩川内市地区川内分区分長(市社会福祉協議会会長)から同地区長(薩摩川内市長)に対して東日本大震災義援金の引渡式がありました。これは、市役所や市社会福祉協議会に寄せられた義援金で、同県支部長(鹿児島県知事)へ渡され被災地へ届けられます。(義援金額：42,064,829円)

皆さまの心温まる善意  
ありがとうございます



4月20日(水)、市役所本庁で、岩手県釜石市へ向けての支援物資搬送出発式がありました。被災者支援のため、本市と市社会福祉協議会へ市民の皆さまから提供されたタオル13,500枚および、カップ麺840食、缶詰480個などを搬送しました。

釜石市からの要望に応え  
支援物資搬送



今年3月、樋脇小学校体育館脇の建物を取り壊した跡から古井戸が発見され、手押しポンプ式井戸に整備されました。4月18日(月)には、全校朝会で内田校長先生が扱い方を説明。その後早速、4年生が手押しポンプを初体験し、井戸水をくみ上げました。

樋脇  
樋脇小体育館脇に古井戸発見!  
花壇の水やりに活用

# 薩摩川内

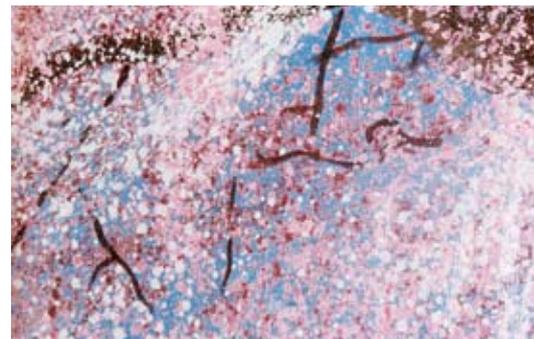
広報  
お知らせ版  
2011  
No.159

4月15日(金)、特別養護老人ホームのぞみ園から東日本大震災被災地の福島県広野町の避難所へ、巨大な桜の絵が贈られました。この絵は、同園入所者らが室内でも花見気分が味わえるよう、3年前に同園系列グループ勤務の中島雅彦なかしままさひこ氏が描いたもの。今回、避難所生活で桜を見ることができない方々のために、心の癒やしになればと贈られました。

祈答院  
復興の願いを込めて  
巨大な桜の絵を被災地へ



▲縦2.4メートル、横7.2メートルの桜の絵



▲水彩ペンキで描かれた色鮮やかな桜の花びら